

JSI ファイル表示ソフトウェア

rJSIViewer

Ver. 2.3.0

説明書

内容

rJSIViewer について	1
rJSIViewer の画面	2
●ファイル情報ダイアログ	4
メニューとリモコンパッドの表示方法	5
●メニューの表示	5
●リモコンパッドの表示	5
コンテンツ表示画面でのタッチ操作	6
●2倍拡大時の表示領域	7
●レジューム登録について	8
操作一覧	9
●リモコン操作	9
●リモコンパッド操作	10
●レジューム画面のメニュー操作	11
●フォルダ画面のメニュー操作	11
●コンテンツ表示画面のメニュー操作	12
設定ダイアログ	13
補足	15
●rJSIViewer をリモコンで起動する方法	15
履歴	16

rJSIViewer について

rJSIViewer は、シンプルな JSI ファイル表示ソフトウェアです。

JSI ファイルとは、ドキュメントスキャナーなどでスキャンされた画像ファイルを一つの文書ファイルとしてまとめたものです。

このプログラムは、Windows 10, Windows 11 (それぞれ 64bit)上で動作します。

同じ r シリーズソフトウェアである rMPlayer や rPDFViewer と同様、ルートアール社の PC 用リモコン (RW-PCM37BK)に対応しています。(リモコン無しでも使用できます。)



ルートアール社 RW-PCM37BK

rMPlayer

<https://www.vector.co.jp/soft/winnt/art/se511718.html>

rPDFViewer

<https://www.vector.co.jp/soft/winnt/writing/se513566.html>

メイン画面をファイル選択用の表示にしているので、テレビに PC を繋いでいる場合のように画面から離れていても楽に操作できます。もちろん、ページ送りなどの操作もリモコンで可能です。

タッチ操作にも対応しており、タブレットでも便利に使用できます。タッチ操作用のリモコンパッドは、リモコンのボタンに合わせてあります。ページ送りや拡大操作は、リモコンパッドを使用しなくても可能です。

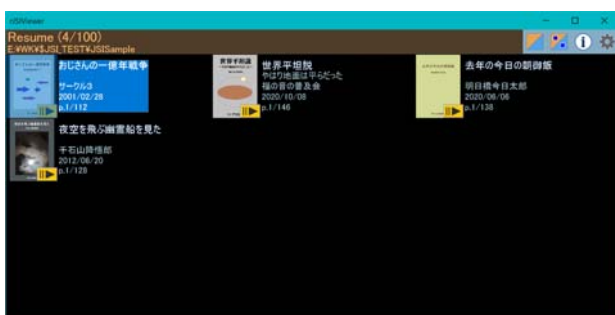
最大 100 個まで登録できるレジューム機能も備えています。登録した文書のページを、レジューム画面のリストから選択して表示できます。同じ文書の異なるページも登録できます。

rJSIViewer の画面

rJSIViewer は、レジューム画面、フォルダ画面、コンテンツ表示画面の3つの画面を切り替えて使用します。

- レジューム画面 最大 100 個のレジューム登録されたファイルのリストを表示します。
- フォルダ画面 PC のフォルダの内容を表示します。表示されるのは、JSI ファイル、およびサブフォルダです。
- コンテンツ表示画面 JSI ファイルを表示している時の画面です。

rJSIViewer の起動時は、レジューム登録されたファイルが存在する場合はレジューム画面になります。存在しない場合はフォルダ画面になります。



レジューム画面の例



フォルダ画面の例

レジューム画面やフォルダ画面のリストに表示されるアイコンには、以下のようなものがあります。







	ドライブを表します。 フォルダ画面の最上位で表示されます。
	サブフォルダを表します。
	JSI ファイルを表します。 <u>サムネール付きのファイルの場合は、最初のページの縮小画像になります。</u> レジューム登録されていない状態です。
	レジューム登録された JSI ファイルを表します。 <u>サムネール付きのファイルの場合は、最初のページの縮小画像の右下に、レジュームマークが付いたものになります。</u>
	レジューム登録された JSI ファイルですが、ファイル本体が見つからないことを表します。

ドライブやサブフォルダの項目をダブルクリックすると、その中に移動します。JSI ファイルの項目をダブルクリックすると、そのコンテンツを表示します。

JSI ファイルのアイコンの右には、最大5項目の情報が表示されます。

タイトル	ファイル情報にタイトルが登録されていれば、それを表示します。 登録されていない場合は、拡張子を除いたファイル名が表示されます。
サブタイトル	ファイル情報にサブタイトルが登録されていれば、それを表示します。 登録されていない場合は、空白となります。
著者など	ファイル情報に著者、出版社、サークルが登録されていれば、それを表示します。どれを表示するかは、設定ダイアログで設定された優先順位に従います。 同じ優先順位のものが複数登録されていた場合は、コンマで区切って並べて表示されます。
出版日	ファイル情報に出版日が登録されていれば、それを表示します。 登録されていない場合は、ハイフンが表示されます。 日が無効な場合は、年、月だけ表示されます。月も無効な場合は、年だけ表示されます。
ページ数	ページ数を表示します。レジューム画面では、「登録ページ／ページ数」の形式で表示します。

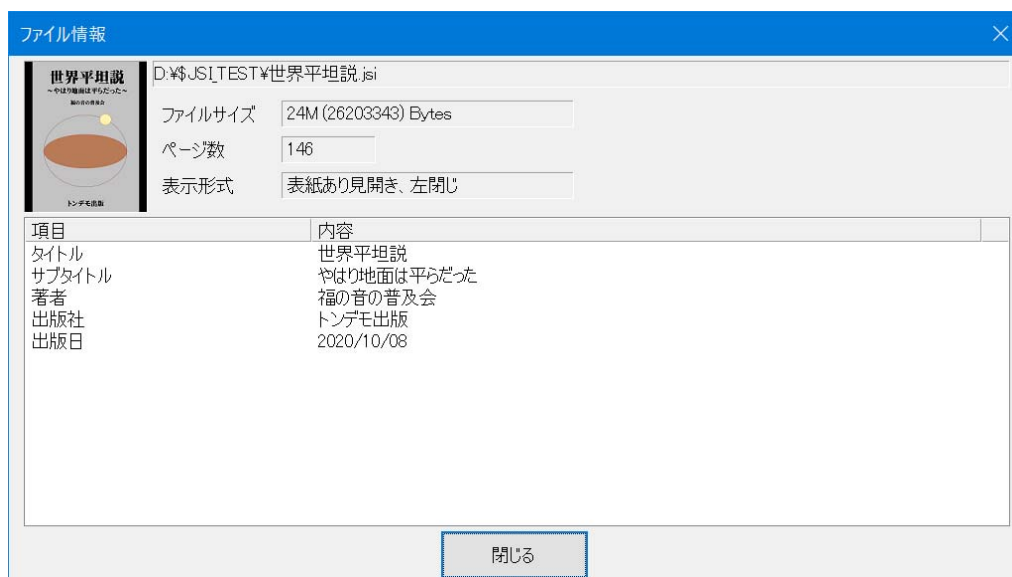
右上のツールバーには、いくつかのボタンがあります。

	上位のフォルダに移動します。 最上位（ドライブ表示）以外のフォルダ画面で表示されます。
	フォルダ画面とレジューム画面を切り替えます。
	可能ならファイルの選択を維持した形で、フォルダ画面とレジューム画面を切り替えます。
	ファイル情報ダイアログを表示します。
	設定ダイアログを表示します。
	rJSIViewer を終了します。 フルスクリーンの場合のみ表示されます。

フォルダ画面では、マウスの拡張ボタン 1（通常、ブラウザの「戻る」機能に割り当て）で上位フォルダに移動することができます（但し、マウスのシステム設定により動作しなかったり、他の操作で動作することもあります）。

●ファイル情報ダイアログ

ファイル情報ダイアログでは、JSI ファイルに関する情報を表示します。



ファイル情報ダイアログの例

メニューとリモコンパッドの表示方法

●メニューの表示

各画面で、マウスの右ボタンをクリックすることでメニューが表示されます。

●リモコンパッドの表示

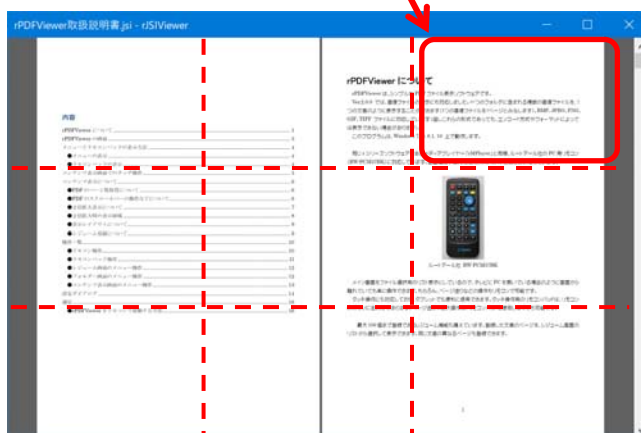
タッチ操作用のリモコンパッドは、レジューム画面やフォルダ画面のリスト、ツールバー以外の場所をタッチすると表示されます(マウスのクリックでも可)。コンテンツ表示画面では、画面右上をタッチすると表示されます。もう一度タッチするか、リモコンパッドの右上のクローズボタンをタッチすると閉じます。

リモコンパッドの上中央のボタン(黒地に点々)をドラッグすると、リモコンパッドを移動できます。

ここをタッチして表示／非表示



ここをタッチして表示／非表示



ここをドラッグして移動

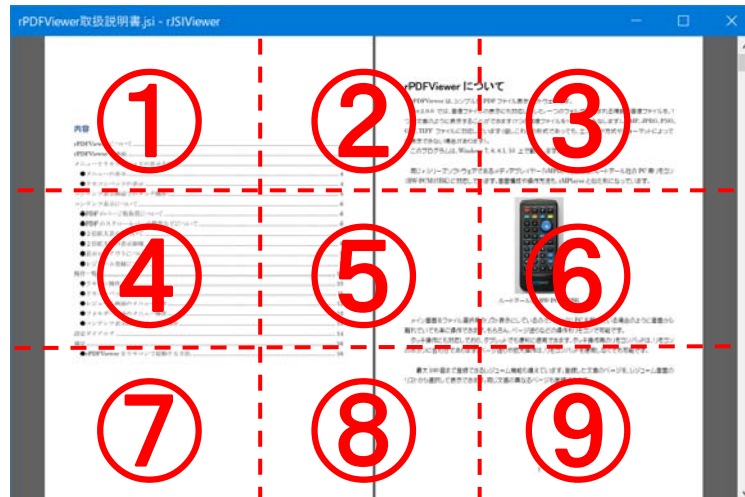


リモコンパッド

コンテンツ表示画面でのタッチ操作

コンテンツ表示画面では、画面を縦横3分割した9個の領域に分けています。

各領域をタッチ（マウスのクリックでも可）すると、その領域に割り当てられた動作を行います。

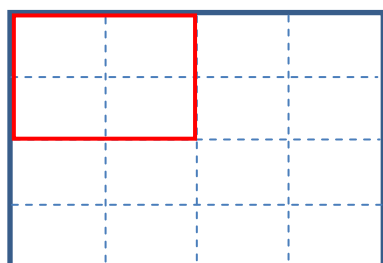


領域	機能	リモコン
①	表示レイアウトの切り替え 文書が見開きで作成されている場合、見開きと単ページ表示を切り替えます。 (文書が単ページで作成されている場合は、見開きにはできません。)	Tab
②	拡大なし時: ページ戻り 2倍拡大時: 上の領域へ	▲
③	リモコンパッドの表示／非表示の切り替え	—
④	2倍拡大時: 左の領域へ	◀
⑤	「拡大なし」／「2倍拡大」の切り替え	Enter
⑥	2倍拡大時: 右の領域へ	▶
⑦	(機能なし)	—
⑧	拡大なし時: ページ送り 2倍拡大時: 下の領域へ	▼
⑨	自動送りの ON/OFF	↩

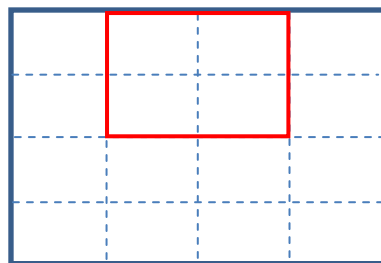
右端のスクロールバーを操作して、ページを移動することもできます。

●2倍拡大時の表示領域

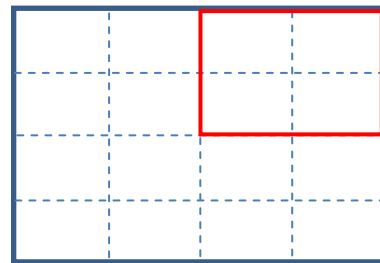
操作を簡単にするため、2倍拡大時に表示する領域を9つにしています。



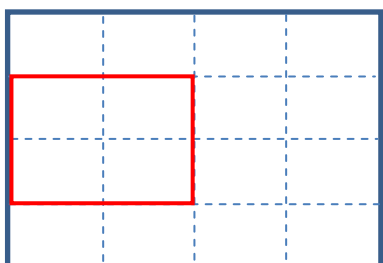
上段左



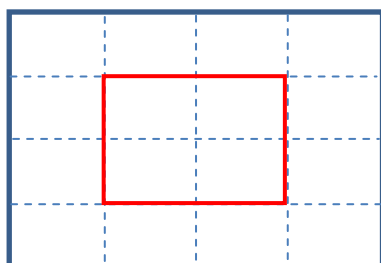
上段中



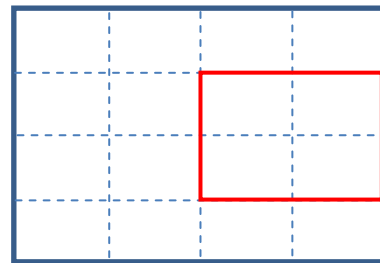
上段右



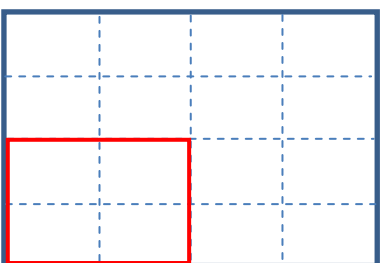
中段左



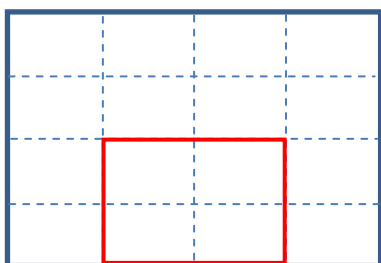
中段中



中段右



下段左



下段中



下段右

●レジューム登録について

コンテンツ表示を終了する場合、レジューム登録に関連して3種類の方法があります。

- レジューム登録せずに終了
- レジューム登録に上書きして終了
- レジューム登録に追加して終了

レジュームに登録されていないファイルの場合は、上書きでも追加でも結果は同じです。

登録済みのファイルで、「上書き」を指定すると、開いた時の登録内容に上書きして登録します。「追加」を指定すると、開いた時の登録とは別に登録します。但し、すでに同じページが登録されていた場合は、その登録に上書きされます。(同じファイルの同じページは、複数登録できません。)

開いた時のページ a の他にページ b がすでに登録されていて、新たにページ b を「上書き」で登録した場合、結果としてページ a の登録はなくなり、新たなページ b の登録が残ります。

操作一覧

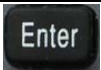



●リモコン操作

※リモコンのボタンのうち、音量調整ボタンなど OS レベルで対応するボタンについては説明を省略しています。


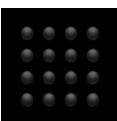

ボタン	レジューム画面	フォルダ画面	コンテンツ表示画面
	—	上位のフォルダへ移動	最初のページを表示
	—		最後のページを表示
	リストの左の項目		2倍拡大時: 左の領域へ
	リストの右の項目		2倍拡大時: 右の領域へ
	選択したファイルの表示	サブフォルダを選択している場合はそのサブフォルダへ移動、それ以外は選択したファイルの表示	レジューム追加登録して閉じる
	—		レジューム上書き登録して閉じる
	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え		
	レジューム登録の取り消し		自動送りの ON/OFF
	リストの上の項目		スキップ戻り 設定ダイアログで設定されたページ数だけ戻る
	リストの下の項目		スキップ送り 設定ダイアログで設定されたページ数だけ送る
	リストの上の項目		拡大なし時: ページ戻り 2倍拡大時: 上の領域へ
	リストの下の項目		拡大なし時: ページ送り 2倍拡大時: 下の領域へ
	リストの左の項目		2倍拡大時: 左の領域へ
	リストの右の項目		2倍拡大時: 右の領域へ

(次のページに続く)

(前のページからの続き)

ボタン	レジューム画面	フォルダ画面	コンテンツ表示画面
	選択したファイルの表示	サブフォルダを選択している場合はそのサブフォルダへ移動、それ以外は選択したファイルの表示	拡大なし／2倍拡大 の切り替え
	選択を維持してフォルダ画面に切り替え	可能なら選択を維持して、レジューム画面に切り替え	表示レイアウトの切り替え 文書が見開きで作成されている場合、見開きと単ページ表示を切り替えます。 (文書が単ページで作成されている場合は、見開きにはできません。)
	選択を無視してフォルダ画面に切り替え	選択を無視してレジューム画面に切り替え	ファイル情報ダイアログを表示
	—	最上位フォルダ(ドライブ選択)へ移動	レジューム登録せずに閉じる

●リモコンパッド操作

ボタン	説明
	rJSIViewer の終了
	ドラッグしてリモコンパッドを移動
	リモコンパッドを閉じる

※その他のボタンについては、同じデザインのリモコンボタンと同じです。

●レジューム画面のメニュー操作

メニュー項目	ショートカット	説明
ファイルを開く	Enter	選択したファイルの表示
ファイル情報	Ctrl + I	選択したファイルに関するファイル情報ダイアログを表示
Folder 画面へ(選択継承)	Tab	選択を維持してフォルダ画面に切り替え
Folder 画面へ(選択無視)	Ctrl + O	選択を無視してフォルダ画面に切り替え
Resume 登録削除	Backspace	選択したファイルのレジューム登録の取り消し
Full Screen 切替	Ctrl + F	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え
設定 ...	—	設定ダイアログを表示
rJSIViewer について ...	—	rJSIViewer のバージョン表示
終了	Alt + F4	rJSIViewer の終了

●フォルダ画面のメニュー操作

メニュー項目	ショートカット	説明
ファイルを開く	Enter	選択したファイルの表示 (サブフォルダ以外を選択している場合) ※複数のページがレジューム登録されている場合、一番若いページが開かれます。
ファイル情報	Ctrl + I	選択したファイルに関するファイル情報ダイアログを表示
Resume 画面へ(選択継承)	Tab	選択を維持してフォルダ画面に切り替え
Resume 画面へ(選択無視)	Ctrl + O	選択を無視してフォルダ画面に切り替え
Folder の展開	Enter	サブフォルダへ移動 (サブフォルダを選択している場合)
上位 Folder へ	Shift + Backspace	上位のフォルダへ移動
最上位 Folder へ	Esc	最上位フォルダ(ドライブ選択)へ移動
Resume 登録削除	Backspace	選択したファイルのレジューム登録の取り消し ※1つのファイルの複数のページがレジューム登録されている場合、そのファイルの全ての登録が削除されます。
Full Screen 切替	Ctrl + F	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え
設定 ...	—	設定ダイアログを表示
rJSIViewer について ...	—	rJSIViewer のバージョン表示
終了	Alt + F4	rJSIViewer の終了

●コンテンツ表示画面のメニュー操作

メニュー項目	ショートカット	説明
Full Screen 切替	Ctrl + F	通常ウィンドウとフルスクリーンの切り替え
Resume 登録せずに閉じる	Esc	レジューム登録せずに、コンテンツ表示の終了
Resume 上書きして閉じる	Ctrl + C	現在のページを登録に上書きして、コンテンツ表示の終了
Resume 追加して閉じる	Ctrl + S	現在のページをレジューム登録に追加して、コンテンツ表示の終了
次のページ	Ctrl + N	次のページに移動
前のページ	Ctrl + P	前のページに移動
スキップ送り	PageDown	設定ダイアログで設定されたページ数だけ送る
スキップ戻り	PageUp	設定ダイアログで設定されたページ数だけ戻る
先頭ページ	Home	先頭ページに移動
最終ページ	End	最終ページに移動
自動送り	Backspace	自動送りの ON/OFF
レイアウト – 単ページ 見開き	Tab	表示レイアウトの選択 文書が見開きで作成されている場合、見開きと単ページ表示を切り替えます。 (文書が単ページで作成されている場合は、見開きにはできません。)
拡大表示 – 拡大なし 2倍拡大 – 上段左 2倍拡大 – 上段中 2倍拡大 – 上段右 2倍拡大 – 中段左 2倍拡大 – 中段中 2倍拡大 – 中段右 2倍拡大 – 下段左 2倍拡大 – 下段中 2倍拡大 – 下段右	0 7 8 9 4 5 6 1 2 3	拡大表示の選択
ファイル情報	Ctrl + I	表示中のファイルに関するファイル情報ダイアログを表示
終了	Alt + F4	rJSIViewer の終了

設定ダイアログ

設定

ノーマル画面のスケール

フルスクリーンのスケール

リストのカラム幅

リモコンパッドのスケール

Folder表示順

Resume表示順

3項目の優先順位

サークル > 著者 > 出版社

スキップ送りのページ数

スキップ戻りのページ数

見開き表示の隙間 (pixel)

自動送りの間隔 (秒)

自動送りをループする

OK

キャンセル

■ノーマル画面のスケール／フルスクリーンのスケール／リストのカラム幅／リモコンパッドのスケール

各画面のスケールや幅を設定します。-10 から 10 まで、21 段階で調整できます。

リモコンパッドは、表示した状態であれば操作に連動してサイズが変わります。

■Folder 表示順／Resume 表示順

各画面のリスト表示で、JSI ファイルを並べる方法を、「タイトル順」、「発行日の古い方から」、「発行日の新しい方から」の三つから選択します。発行日で並べる場合、発行日が登録されていない JSI ファイルは、登録されている JSI ファイルの後にタイトル順で並べられます。

■3項目の優先順位

リスト表示の3項目(著者、出版社、サークル)の優先順位を設定します。以下の6通りから選択できます。

著者 > サークル > 出版社
著者 > 出版社 > サークル
サークル > 著者 > 出版社
サークル > 出版社 > 著者
出版社 > 著者 > サークル
出版社 > サークル > 著者

例えば「著者 > サークル > 出版社」の場合、著者が登録されていれば著者を表示します。著者が登録されておらず、サークルが登録されていれば、サークルを表示します。著者もサークルも登録されておらず、出版社が登録されていれば、出版社を表示します。どれも登録されていない場合は、ハイフンが表示されます。

■コンテンツ表示中はマウスカーソルを消す

コンテンツの表示中に、マウスカーソルを消すか否かを選択します。

「消す」を選択した場合でも、マウスを動かせば表示されます。

■小さい画像も画面にフィット

画面より小さいページ画像を、拡大して画面にフィットさせるか、拡大せずに等倍(dot by dot)で表示するかを選択します。(画面より大きいサイズの画像は、画面にフィットするように縮小されて表示されます。)

■スキップ送りのページ数／スキップ戻りのページ数

スキップ送り、スキップ戻りのページ数を設定します。

■見開き表示の隙間

見開き表示する場合の、画像間の隙間のサイズをピクセル単位で指定します。

0～30の範囲で指定できます。

■自動送りの間隔

自動送りの間隔を、秒単位で指定します。

1～3600の範囲で指定できます。

■自動送りをループする

自動送りのループ動作を選択します。

チェックしない場合、最後のページを表示したら自動送りを終了します。

チェックした場合、最後のページを表示したら最初のページに戻って自動送りを続けます。

補足

●rJSIViewer をリモコンで起動する方法

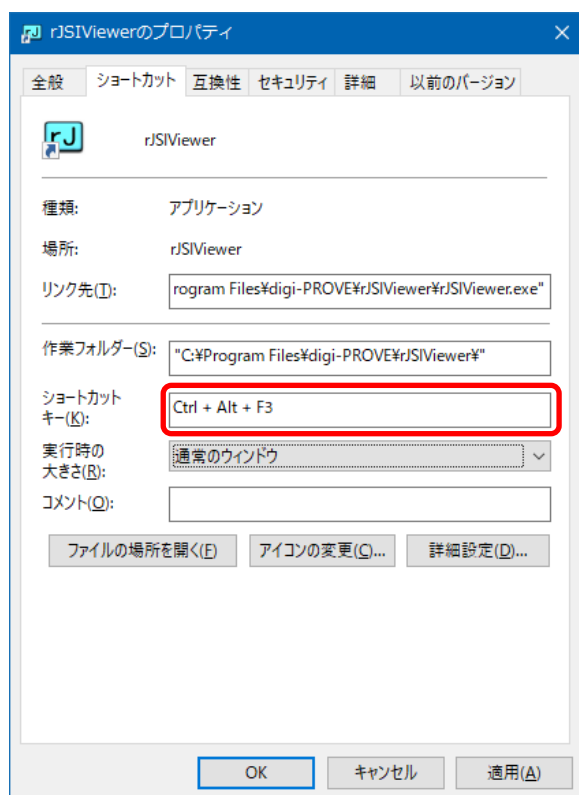
デスクトップの rJSIViewer アイコンのプロパティ設定を行うことにより、リモコンのアプリケーションボタンで rJSIViewer を起動できるようになります。



このボタンで rJSIViewer を起動させる



デスクトップの rJSIViewer アイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」を実行します。



「ショートカット」タブを選択し、「ショートカットキー」の欄をクリックします。リモコンの C ボタン(上の図の青のボタン)を押すと、「Ctrl+Alt+F3」が入力されます(キーボードで入力することも可能です)。

プロパティのダイアログを「OK」で閉じて登録完了です。

履歴

2021 年 1 月 21 日発行(Ver.1.0.0)

2021 年 2 月 5 日発行(Ver.1.1.0)

ツールバーに、「rJSIViewer の終了」ボタンを追加(但しフルスクリーンの場合のみ)。
ツールバーボタンは、マウスボタンを押した時でなく、同じボタン内で離れた時点でコマンドを実行するように変更。また、押している時の色を変えるように変更。

リストの表示順に関して、発行日の新しい方から並べる選択肢を追加。(但し、発行日のないファイルは、発行日のあるファイルより後に表示されます。)

リストのカラム幅を設定する機能を追加。

フォルダー表示で、マウスの拡張ボタン 1 (通常、ブラウザの「戻る」機能に割り当て) で上位フォルダーに移動する機能を追加。(但し、マウスのシステム設定により動作しなかったり、別の操作で動作することもあります。)

2021 年 2 月 21 日発行(Ver.1.2.0)

ツールバーに、「Folder/Resume 切替(選択継承)」ボタンを追加。

発行日と同じ場合のソート順を見直し。

2021 年 2 月 27 日発行(Ver.1.3.0)

タイトルでのソートが不正な不具合の修正。

2021 年 3 月 6 日発行(Ver.1.3.1)

バージョンの変更のみ。

2021 年 3 月 14 日発行(Ver.1.4.0)

リスト表示の3項目(著者、出版社、サークル)の優先順位を設定する機能を追加。

ツールバーの「上位フォルダへ移動」ボタンが左隣のエリアでも反応する不具合の修正。

ページ管理の見直し。

2021 年 4 月 4 日発行(Ver.1.5.0)

バージョンの変更のみ。

2021 年 9 月 25 日発行(Ver.1.5.1)

バージョンの変更のみ。

2022 年 10 月 2 日発行(Ver.1.6.0)

jpg ファイルの EXIF 回転情報を表示に反映するようにした。

自動送り機能を追加。

2023 年 6 月 18 日発行(Ver.2.0.0)

自動送りの ON/OFF、拡大モードの ON/OFF 時にメッセージを表示するようにした。

2023 年 7 月 18 日発行(Ver.2.1.0)

リスト表示の上部に、Resume 数、ファイル数の表示を追加。

2023 年 8 月 20 日発行(Ver.2.2.0)

タイトルやフォルダー名の順序を Windows Explorer 形式に変更。

2024 年 1 月 2 日発行(Ver.2.3.0)

バージョンの変更のみ。

奥付

本書は、著作権法上の保護を受けています。

本書はフリーソフトの一部であり、digi-PROVE が作成したアーカイブの形態での複製、配布は自由に行うことができます。また、プログラムをインストールしたPC内部、およびそのバックアップ目的での記憶メディアへの保存に限り複製を行うことができます。以上の形態以外の形態では、本書の一部または全部について、digi-PROVE から文書による許諾を得ずに、いかなる方法によっても無断で複写、複製することは禁じられています。

Copyright© 2021-2024 digi-PROVE

メールアドレス: digiprove@outlook.jp